

# 本庄News

2009年 1月

No. 54



**明けましておめでとうございます** 暖冬と言われるものの、流石に大雪頃から朝晩はかなり冷え込んできました。まださほど厳しい寒波や大雪はありませんが、いつ冬将軍がやってくるかわかりませんので冬支度のご確認を忘れずに。「森のすみか」は今シーズンも薪ストーブ全開です。端材ばかりで焚いています、80坪の空間を一台で頑張っています。お近くにお越しの際にはお気軽に温まりにお立ち寄り下さい。

**日本とアメリカ** いわゆる百年に一度の経済危機に陥っている日本の内閣の支持率は下がり下がり20%を割った。国民へのお小遣いのような定額給付金でさえ、内閣不支持率と同じ70%以上の反対。そんな国民から支持されていない首相が、「景気がよくなったら3年後に消費税を上げる」と更に国民を置き去りにした。一方、先日44人目にして初の黒人の米国大統領となったオバマ新大統領の就任式。最低気温-7℃、最高でも0℃のワシントンには200万人もが各地、各国から集まって異様な熱気があった。就任演説はとても丁寧で、落ち着いて、そして力強く語り、素晴しかった。「私たちの挑戦は新しいものかもしれない。だが、**成否を左右する価値観は、勤労と誠実さ、勇気と公正さ、寛容と好奇心、忠誠と愛国心**、といったものだ。これらは古くから変わらない。真理である。私たちの歴史を通じて、これらは前に進む静かな力となってきた。必要なのは、こうした**真理に立ち返る**ことだ。今私たちに求められているのは、**新たな責任の時代**だ。それは、一人ひとりの米国人が、私たち自身や我が国、世界に対する責務があると認識することで、その責務は嫌々ではなく、むしろ困難な任務に心を満たし、喜んで引き受けるべきものだ。」と経済危機の打開、平和の構築に向け、国民一人ひとりが責任と自覚を持って、変革の努力に加わるよう呼びかけたことが印象的でした。日本の政治家はどのように聞いたのだろうか？ ある記事に、オバマ大統領は「国民に顔を向けて、国が直面している危機がどのようなものか、克服に何が必要なのか率直に語り、人々の説得に時間を惜しまない**“説得する政治”**の名人」とあったが、まさにそう感じた。先の「景気がよくなったら消費税を・・・」ではなく、景気をよくするにはこれをする、みんなでこれをしよう。とハッキリ言って欲しいのに。総選挙に与党が勝てるかどうかではなく、まして党や派閥でもなく、日本がどうなるかという次元の認識が政治家にだけないのが歯痒い。米国の羨ましく映ります。

**岐阜人の底力を！** 岐阜だけでなく全国的に元気がない町が多いように思いますが、まず我が町岐阜が元気でないと。期待したいのは昨年サッカーJ2入りした「FC 岐阜」。厳しい財政面から生き残りをかけメンバーを大幅に若手に入れ替え、存続をかけた試合が続くはず。そこから這い上がれるか、そしてそれをみんなでサポートできるか。それにはまず多くの人が競技場に足を運ばないと始まりません。傍観者では何も変わりません。けれどサッカーだけのことではなく、他の事へもつながっていくはず。自分が頑張ったり頑張っている人を応援して、元気を、パワーを見せましょう！

**心を込めて・・・一歩一歩** このところ、建築・食品業界などの止め処ない偽装、金融危機からの不況～派遣切り、そして無差別殺傷事件の多発などといった形で、今までの効率や利益を優先してきた価値観の崩壊が顕著だと感じます。功利主義に終止符を打ち、人間中心主義への思考の改革が必要だと強く思う。まさに危機は転機だと捉えます。今のこの世の中に必要なキーワードは「**心**」だと感じます。魂の歌手中島みゆきさんの名曲に「命の別名」という歌があります。「くり返す哀しみ/あやまちを照らす灯をかざせ 君にも僕にも すべての人にも 命に付く名前を「心」と呼ぶ 名もなき君にも 名もなき僕にも」体中に、心に響くように歌い上げます。自分だけでなく他人も、強い人だけでなく弱い人も、できる人もできない人も、いろんな人を大切にできる社会の構築をしないと嫌なニュースは減らないと思います。私たちが掲げている「**真心こめた住まいづくり**」をより高め、つながりを大切に、そして丁寧でしっかりとした仕事をして、牛に見習い一歩一歩ギョッ、ギョッと進んで行きたいと考えています。今年もよろしく願い申し上げます。

**恒例 木の机作り 3/20(祝)** Jパネル(間伐材利用)を使って、勉強机やパソコン机として使える木の机製作です。どこにも売っていない、自分で作った木の机は格別です。詳細は後日、ご案内致します。





## 最近のホームサービスから

### 「2008年ホームサービス集計」



2008年のホームサービス＝定期点検で見つかったもの・ご連絡いただいたもの＝を集計しました。私たちが施工したお宅の他、ご近所の方、お知り合いの方からのお問い合わせも含まれております。ご不便をお掛けし申し訳ございませんでした。また多くのお問い合わせ有難うございました。

サッシ・建具の不具合、トラブル	62	ベランダ・外壁の割れ、不具合	11	落雷被害によるトラブル	5	借家修繕	2
壁・クロスなど内装の不具合、貼替	21	照明器具・電球の交換	11	軒天・庇修理	4	ロールスクリーン取付	2
給排水トラブル	20	ガスコンロ取替・修理	10	網戸増設・修繕	4	湿気（カビ・結露）対策	1
床・階段の不具合	17	屋根・樋の不具合	8	配線トラブル	3	基礎・土間クラック修理	1
鍵の不具合・トラブル・取替・取付	17	キッチントラブル	7	シロアリ対策・駆除	3	インターホントラブル	1
トイレトラブル	15	鳥・ねずみ・ヤスデ等生き物対策	7	食洗機不具合	3	駐車場整地等	1
金物取付・収納増設・改修	14	井戸・ポンプトラブル	6	ブースター取付・TV部品取付	3	畳取替	1
給湯器・温水器トラブル・交換	13	雨漏れ（災害含む）	5	障子・襖貼替・修繕	2	床下補強・点検	1
浴室・洗面トラブル	13	エアコン故障、取替	5	電気・フレーカートラブル	2	シャッター修理	1
水栓トラブル	12	ガラス割れ替え	5	手すり取付	2	合計	321

毎年ダントツはサッシ・建具関係の不具合です。上位にくる不具合は 水廻りなど 利用頻度が高いもの・建物には厳しい環境の場所です。昨年の特徴として、“ゲリラ豪雨”に伴う落雷被害が増えています。今後も本庄 Newsなどで、皆さんでできることやチェックできることを掲載していきます。もし不具合、トラブル、故障などが起きた場合、まずはフリーダイヤル 0120-71-6527へご連絡ください。24時間365日つながります。できる限りスピーディな対応をさせていただきます。

#### 保存用のメンテナンス本配布

昨年末カレンダー配りの際に、住宅普及協会発行の「住まいの管理手帳 戸建て編」（平成20年版）と「本庄オリジナルメンテ本」を2冊一緒にお配りしました。万一、メンテ本が配られていない方、またカレンダーの配布がなくメンテ本をご希望される方はお手数ですがご連絡賜りますようお願い申し上げます。

#### 季節のメンテナンス ～結露対策～

冬場になると、窓ガラスが水滴でびしょびしょ・・なんてことよくありますよね。暖かく湿った空気が窓ガラスなどの冷たいものに触れ、水滴となるこの「結露」、そのままにしておくとかビヤダニの原因になります。結露防止のポイントは「温度差」と水蒸気の解消です。場所に応じた結露対策で快適な冬を過ごしましょう。

#### [ 結露対策 ]

●まめに換気：室内にこもった水蒸気を外に逃がすこと。外気温が高く湿度は低い午後に行うなどタイミングを計って。窓だけでなく、キッチンの換気扇も有効です。カーテンなども閉めっ放しは避けましょう。又布団を入れる押入れの換気も大切です。窓から換気する際には**15cmくらい細く開けた窓（外気を取り入れる窓）と全開した窓（空気の出口）の2箇所の窓を開けましょう。**

夜の台所、浴室、洗面所の水蒸気をきちんと放出することも大切です。●家具は壁から5cm程離して置く。●除湿機やエアコンを利用（ファンヒーターは200ml/時間の水蒸気を発生します）。●こまめに窓を拭く：台所用洗剤を20倍ほど薄めたもので窓を拭くと、洗剤に含まれる成分が水分を寄せ付けなため、結露しにくくなります。また新聞紙を貼り付けて水分を吸い取るもの簡単で効果的です。

#### [ 簡単な窓の改修で結露を防ぐ ]

●昨秋にも紹介しました「インプラス」。今ある窓の内側に取り付けずばやく二重窓を装備できる優れたものの窓。枠がアルミの1/1000の熱伝導率の樹脂で、いろいろな大きさの窓に対応可能。一ヶ所30～60分と簡単施工。冷暖房効率の向上、結露防止、防音の効果があります。

※古いお住まいで窓にすき間ができていてもコーキングなどを入れながら施工可能。

※参考金額：腰窓単層ガラス約5万円、掃き出し窓単層ガラス約10万円（施工費・消費税込み）

★住まいの不具合・ご質問等ございましたらいつでもお気軽にご連絡下さい。

ホームサービス専用 Free Dial 0120-71-6527 《365日 24時間 電話対応》



### 第三回メンテ教室

#### ～年末編 障子戸・無垢の床～

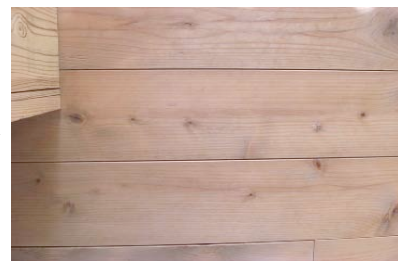
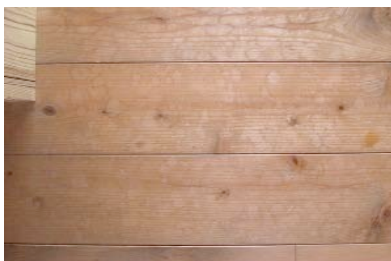
つつい見で見ぬ振りをしてしまう「障子の破れ」「無垢の床の汚れ」に今回は挑戦しました。

障子貼りでは、「霧吹きは不要」「天日で乾かす」など今までのやり方が間違っていたこともわかり、一度教えてもらえばもうこれで大丈夫。森のすみかでの練習の成果を早速実践して下さいね。くれぐれも棧などを折らないよう木製建具の取扱いは優しく丁寧にお願いします。障子紙が新しくなると部屋が明るく広く感じます。また破れからの隙間風がなくなり、省エネにもつながります。紙一枚ですが障子戸を閉めるととても暖かくなりますよ。また、和紙を通しての明かりにも風情がありおいしいお茶が頂けるのでは。



無垢の床の汚れは、ある程度覚悟はしていてもできれば落したいもの。あらゆる種類の汚れが落せるわけではありませんが、水滴跡やクレヨン汚れなど目立たなくできます。やってみるとかなり大変ですが、見違える(?)程の変わりように皆さん驚かれています。お子さんにも大人気。遊び感覚で大掃除のお手伝い。「ちょっと邪魔!」と思われても一緒に頑張ってください。またアイロンでの補修によりへこみ傷もごまかせるくらいまで復活! 諦めずに手を掛けてあげて下さい。

メンテ教室で取り上げて欲しい「お困り箇所」のご要望承っております。ご連絡は 森のすみか展示場 武田まで



白木クリーナーで 森のすみか展示場のキッチン周りの水滴が・・・。

## ちょっと になる話

## 『いつ来る?大地震』

東海地方でもかなり揺れたあの1月17日からもう14年が経ちました。日本には、その後も震度6以上の大地震が立て続けに起きています。

- ・2008年7月 岩手県沿岸北部 6強 被害319棟
- ・2007年7月 新潟県中越沖 6強 被害42,011棟
- ・2005年8月 宮城県沖 6弱 被害985棟
- ・2004年10月 新潟県中越 7 被害121,818棟
- ・2003年7月 宮城県北部 6強 被害16,061棟
- ・2001年3月 芸予 6弱 被害50,067棟
- ・2008年6月 岩手・宮城内陸 6強 被害1,833棟
- ・2007年3月 能登半島 6強 被害29,352棟
- ・2005年3月 福岡県西方沖 6弱 被害8,997棟
- ・2003年9月 十勝沖 6弱 被害2,073棟
- ・2003年5月 宮城県沖 6弱 被害2,428棟
- ・2000年10月 鳥取西部 6強 被害22,080棟



関東から九州の太平洋側の大地震はありませんが、何時起きてもおかしくないと言われています。きちんとした耐震補強、上部階の軽量化、家具などの転倒防止、非常食などの防災準備など今一度ご確認下さい。耐震調査・補強など何でも不安なことはお気軽にご連絡下さい。

## コラム 「マスク越しに見た世界の野球」

北京オリンピックにおいて星野仙一率いる日本プロ野球のオールスターチーム『星野ジャパン』の惨敗の記憶もまだ新しい中、3月には野球の国別対抗戦、第二回ワールドベースボールクラシックが開催されます。北京オリンピックの後、野球における国際大会の意義とは何かを議論されることなく、スポーツマスコミのみならず一般、ゴシップ誌にいたるまで、日本代表チームの敗因や、その裏話、またはワールドベースボールクラシックの監督人事ばかりをオモシロおかしく、あることないこと報道している様に違和感を覚えました。『野球における国際大会とは何ぞや?』、『そこで勝つとは如何なることか?』、『そのためには何をなすべきか?』といったことを議論すべきではないのか。

東京に住んでいた1989年のことです。日本対キューバの試合を見るために西武所沢球場に足を運びました。世界最強といわれるキューバチームの選手がプロフェッショナルと変わらないステート・アマであるのに対し、日本代表はノンプロ・社会人チームに所属するアマチュアです。結果は、後にプロ野球界で活躍する佐々岡、与田、潮崎、野茂の豪華投手リレーがキューバ打線を抑えこみ、快勝しました。確かに投手陣は豪華でしたが、象徴的なのは攻撃陣。私の目を引いたのは杉本拓也（プロ野球に進むことなく現在は新日本製鐵広畑野球部監督）という若い選手でした。走守に躍動感あふれ、隙あらば先の塁をうかがわんとする姿に世界最強のキューバに挑む日本のアマチュア野球のプライドを感じました。本当に『イイモノ』を見せてもらった。純粋に感動しました。最近でこそ国際大会の日本代表をプロ野球選手に占領されているものの、当時は日本のアマチュア野球選手にとって、最高の晴れ舞台が国際大会だったのです。多少技量が劣ろうとも、創意工夫とベストを尽くし、キューバをはじめとする他国の代表に対等に渡り合ってきたのが日本のアマチュア野球です。1984年のロサンゼルスオリンピックから1996年のアトランタオリンピックにかけての4大会で『日本アマチュア野球』は常にメダルを獲得しました。

『日本アマチュア野球』の黄金期、1992年バルセロナオリンピック日本代表チームで主将を務めた高見泰範氏（岐南中・羽島北高・愛知工大・東芝）が野球雑誌で数年前に野球における国際大会を語っていました。そのタイトルが『マスク越しに見た世界の野球』です。大学卒業時と東芝在籍時の二度、ドラフト会議で指名されたにも関わらずプロ野球に進むことなく、日本のアマチュア野球界に彼は身を置き続けました。『ミスター・アマチュア 杉浦正則』と並び称される『日本アマチュア野球』の功績者です。『マスク越しに見た世界の野球』を要約すると、『野球の国際大会は短期決戦である。短期決戦なりの体調管理・戦術がある。』『試合をする環境は恵まれた状況ばかりではない。荒れたグラウンド、ナイターの照明の照度に問題があるケースもある。』『宿舍・ホテルの質が劣悪な場合もあり時にはシャワーから湯が出ない。』『ストライクゾーンなどのジャッジが審判によってバラつきがあるだけでなく、同一人物であっても時として変わることもある。』『使用するボールも日本製に比べて縫い目が高かったり、低かったり。滑りやすい革のボールもある。』『様々なスタイルの野球、選手が世界には存在する。』『投手起用も先発・中継ぎ・抑えという固定観念に縛られてはいけない。』『単に早いボールを投げられる投手、145kmくらいの球速の投手は打たれる。』『コースや球種に的を絞るのでなく、タイミングを合わせることを主眼にした日本では見られない打撃に対する対応策が必要。』『長けた身体能力によるスーパープレイが見られる。』『良い選手が活躍できるとは限らない。力を発揮できるのが良い選手である。』……。国際大会についての高見氏のコメントは星野ジャパン・日本プロ野球が国際大会で惨敗することを予言するかのようでした。働きながら社会性を身につけたアマチュアだから、技量に劣っていてもキューバなどと対等に渡り合えたのではないのでしょうか。

3月に開催されるワールドベースボールクラシックは日本では盛り上がっているようですが、他の参加国とはかなりの温度差があるようです。野球はプロ野球、社会人、大学、高校、少年（リトル）と、それぞれ別の協会団体の管理下にあります。それがサッカーとは異なり、国を代表するチームを編成することを困難にしています。国際大会の意義・位置付けもなされないまま継続しては、回を重ねるうちに興味も熱も冷めていくのではないかと思います。ワールドベースボールクラシックはエンターテイメント的にプロが参加するが、オリンピックの日本代表はアマチュア野球から再構築することで、アマチュア野球の存在意義も見直され野球人気も高まるのではないのでしょうか。



本庄工業株式会社

ホームページ  
Email

<http://www.honjo-woodream.com>  
[info@honjo-woodream.com](mailto:info@honjo-woodream.com)

本社

058-271-6527

森のすみか展示場

0120-89-5488